



# 体験的な学び、主体的な学びを重視しています！

佐賀商業高校は、「誠実・努力」を校訓に、他者を思いやり、自ら学び、自分の考えを分かりやすく伝え、地域の期待に応える生徒を育成します。魅力ある学校づくりを推進します。



令和5年度 佐賀県立佐賀商業高等学校学校新聞



題字：田中皇洋先生

## 生徒商業研究発表大会

### 優秀賞を受賞しました

7月5日、佐賀県高等学校生徒商業研究発表大会が開催され、佐賀商業高校から「SSP Rプロジェクト」チームが出場しました。

情報処理科の生徒たちが先輩方から引き継ぎ、昨年度から取り組んでいる「極星梨酢」と「SAGAPARINORI」ごま油ネギ味の開発の経緯や動画広告製作の過程を発表しました。

また、生徒たちはそれぞれの商業高校の研究内容や工夫を凝らしたプレゼンテーションに新たな刺激を受けた様子でした。

極星梨酢(きわみほしなしす)は、規格外などの理由で廃棄される伊万里梨に着目し、サガビネガー様とコラボして開発したものです。また、佐賀市漁村女性の会の人気商品で、有明海苔のおいしさをぎゅっと閉じ込めた SAGAPARINORI(さがぱりのり)について、その商品と佐賀市漁村女性の会を広くPRしようと、共同で新商品を開発しました。



発表した情報処理科3年生

### 生徒発“自分たちの学校”づくり！ルールもマナーも主体的に考えたい！

## ルールメイキングプロジェクト！

学校生活のルールやマナーについて、生徒たちが自分のこととして考え行動するきっかけにしようとして、校則について意見を出し合う「ルールメイキングプロジェクト」が4月から本格的に発足しました。

生徒会長の田中悠暉君、副会長安富甚大君、土田愛実さん、生活委員長吉原麗さん、副委員長長本山陽貴君を中心に、クラスの生活委員や生徒支援部の先生方が会議を重ね、これまでに4回の会議と前後のミーティングを実施しました。今回は、従来より生徒からの要望の高かった靴下の規定について議論を重ねました。

初めての試みにも関わらず、生徒たちの間から規定変更の場合のルールに関する厳しい意見や現在の靴下の取り扱いへの配慮など、様々な意見が出され、活発な議論となったそうです。

7月20日の職員会議の場で、田中生徒会長がプロジェクト委員会としての意見をプレゼンし、先生方からも多くの意見や堂々たるプレゼンへの称賛の声が寄せられました。

今後、さらなる審議を経て、2学期初めに生徒会長から全校生徒の皆さんへ発表される予定です。新しい学校づくりへの第一歩をしっかりと踏み出してくれました！

第 6 号  
〒840-0804  
佐賀市神野東 4-12-40  
電話 0952-30-8571

最新情報は Web に 随時掲載！

## 8月の行事予定

1	火	
2	水	就職校内選考会
3	木	体験入学①
4	金	体験入学②
5	土	
6	日	
7	月	
8	火	
9	水	原爆慰霊祭
10	木	
11	金	山の日
12	土	
13	日	学校閉庁日
14	月	
15	火	
16	水	
17	木	九州商業教育研究大会
18	金	九州商業教育研究大会
19	土	校地内立入禁止
20	日	
21	月	
22	火	
23	水	3年進学補習
24	木	
25	金	
26	土	
27	日	
28	月	進学校内選考会
29	火	
30	水	
31	木	3年登校日

変更になる場合もあります

## 企業に学ぶSDGs

## 伝統文化、職人の心と技を知る

佐賀商業高校では、各方面で活躍する方のお話を伺い、グローバル社会で活躍する人材を育成しようとする「グローバル人材育成のための講師派遣事業」を実施しています。

事業の一環として、7月5日、3年5組の生徒を対象に(株)セブンイレブンジャパンの方々による講話を実施しました。

生徒たちにとって大変身近な企業であるセブンイレブンジャパンが、「手前どり」や「コアトレード商品」「ポイントがたまるペットボトル回収ボックス」をはじめ、様々なSDGs活動に積極的に取り組んでいること、経済的価値だけではなく社会的価値を重視していた企業経営の大切さなどを教えていただきました。企業の在り方だけでなく、人としての生き方についても改めて考えさせられたようでした。



講話の後、意見交換する生徒たち



積極的なSDGs活動や海外進出についてお話いただきました

100%リサイクルペットボトルの自社商品(お茶)をお土産にいただき、SDGsへの関心も、さらに高まりました！

商品やサービスを提供するプロの商業人を目指すとともに、日本の伝統文化や地域の文化、様々な商品に込められた職人の技術、生産者の思いを知り、ものづくりへの興味を持ってもらおうと、今年度も1年生を対象に和菓子実習を実施しました。

優れた技術者のみが取得できる「ものづくりマイスター」の称号をお持ちの和菓子職人古河義継先生(株北島技術顧問)をお招きし、指導を受けました。今年度は、練り切り2種類、和洋折衷のコーヒー水羊羹、丸ぼうろの3品に挑戦しました。

職人歴50数年の古河先生の手によって生み出される美しい作品に感嘆の声を上げ、初めての和菓子作りに挑戦していただき、和菓子の美しさや職人技のすばらしさを実感しました。出来立ての丸ぼうろは格別だったようです。作品は持ち帰り家族にも披露しました。



一人一人にご指導いただきました



先生の鮮やかな師範と真剣に見つめる生徒たち

三菱みらい育成財団の助成を受け実施することができました！(月間高校教育8月号に掲載)

## Haul-A プロジェクト

佐賀商業高校は、高崎商科大学・朝日大学・福岡大学との高連携事業を実施しています。1学期は、一般社団法人日本商業教育振興会の小島一富士様(公認会計士)をお招きし、1年生、2年5組、2年6組の生徒を対象にした講演会を実施しました。企業の経済活動に欠かせない「簿記」について分かりやすく説明していただき、

## 簿記を極め、簿記のプロへ

### 高大連携事業本格スタート

簿記を学ぶことへの意欲に火をつけていただきました。また、簿記部の生徒を対象にした講演や講習会も開催していただきました。今後、グローバルビジネス科や簿記部の生徒を中心に、日商簿記検定取得に向けて手厚いサポートをしていただく予定です。在学中の高度資格取得へさらに期待が高まります。

### 生徒が中心となり運営しました！

## 校内読書会(図書委員)も！ クラスマッチ(体育委員)も！

課題図書を読み、クラス討議を行った校内読書会では、各クラスの図書委員が司会進行・記録を務めました。討議の柱ごとに活発な意見が出され、他者の意見に耳を傾け、共感し、違いや良さを認め合うことができ、大変有意義な時間となりました。学年ごとに実施したクラスマッチ(バレーボール)では、生徒会役員、体育委員、バレーボール部員が準備・進行・審判などを務めました。運営や審判生徒の活躍のおかげで会場も大いに盛り上がり、クラスの結束が高まりました。



会場が一丸となり盛り上がりました！



活発な意見が出された読書会